

1. センチネル・アジアの DAN(Data Analysis Node)に、**日本の大学で最初に認められる。**
 - ・平成 21 年 9 月 18 日（当時、三浦は工学部長兼理工学研究科長）、立川敬二 JAXA 理事長を西浦みどり先生（JAXA エグゼクティブアドバイザー兼山口大学客員教授）より紹介していただく。
 - ・その時、立川理事長のお話の中でセンチネル・アジアのお話があり、防災を通じて国際貢献を山口大学もしようとする。
 - ・それと前後して、三浦が研究科長として理工学研究科に「安全環境研究センター」を設置。
 - ・現在、そのセンターの中の「防災研究分野（三浦：部門長）」と「リモートセンシング分野（中村秀明教授：部門長）」がセンチネル・アジアの活動の中心を担う。

2. DAN として協力し、災害画像をセンチネル・アジアに提供、**日本の大学で最初に URL にアップロードされる。**
 - ・今年の 7 月に起こった「平成 24 年 7 月北部九州豪雨」による災害を、JAXA の Senior Scientist の長井正彦氏（現在タイ・バンコックに在住、AIT の客員研究員も務める）の指導の下に最初の画像をセンチネル・アジアの URL にアップ。
 - ・アップロードされているページの URL は
https://sentinel.tksc.jaxa.jp/sentinel2/thumbnailEmob.action?subset_name=Emergency+Observation&requestId=ERJPJX000033
ページの最下部、Product-JPYU(Jpeg)です。クリックすると、拡大やダウンロードができません。画像をメールに添付します。

3. JAXA との共同研究の実施。
 - ・衛星リモートセンシングを使った研究を進めるために三浦が関係者に呼びかけて立ち上げた「衛星リモートセンシングによる防災・環境研究のアジア拠点形成」（代表：三浦、メンバー 16 名）が、平成 23 年 10 月に、大学の研究推進体に認定される。
 - ・このメンバーが中心になって、JAXA との共同研究を進めている（代表：田中佐教授、三浦は副代表）。このメンバーは安全環境研究センターの上記 2 分野のメンバーを兼ねる。
 - ・テーマは、降雨の解析、豪雨災害の解析、津波災害の解析、火山活動の影響の解析、緑化の解析など。

4. ALOS-2 打ち上げへの準備
 - ・来年打ち上げられる ALOS-2 は、合成開口レーダーを搭載しており、昼夜、天候に拘わらず画像の取得が可能であり、解像度も高く、防災上、極めて高い貢献が期待できる。
 - ・この ALOS-2 が打ち上げられたらすぐにその画像を解析し、災害に備える体制を整える準備を進めている。その一環で、10 月 4 日に SAR の第一人者である JAXA 地球観測研究センターの島田政信氏に山大工学部にて講演、意見交換をしていただく。
 - ・ALOS-2 の有効活用をテーマに「ALOS-2 データ利用公募型共同研究」に応募する予定。

以上